

# 【修正前】富良野市における宿泊税の制度設計①

	富良野市	左記の考え方
課税 客体	富良野市内に所在する次の宿泊施設への宿泊行為 <ul style="list-style-type: none"> <li>旅館業法の許可を受けたホテル、旅館、簡易宿所</li> <li>住宅宿泊事業法に規定する住宅宿泊事業に係る施設（民泊）</li> </ul>	【民泊を含めることについて】 <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊行為に対しての課税であれば、民泊宿泊者にも課税せざるを得ない。当市の場合、旅館業法及び住宅宿泊事業法については、北海道が所管しているが、違法民泊等がある場合については、北海道へ連絡し、民泊施設の届出を行うよう指導していただく。</li> </ul>
納税 義務者	上記施設への宿泊者 ※宿泊目的に限らず徴収	【観光以外の宿泊も対象とすることについて】 <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊税は観光振興のために使用するが、ビジネス客であっても富良野の魅力（域内交通、飲食店、買い物）を享受することになるため</li> <li>宿泊目的を把握・証明することが困難</li> </ul>
徴収 方法	・特別徴収 特別徴収義務者（宿泊事業者等）が宿泊者から徴収・納入 ※道も宿泊税を導入する場合は富良野市が一括して徴収	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての宿泊税導入先行自治体において宿泊事業者等を特別徴収義務者とし、特別徴収を実施</li> </ul>
申告 期限	毎月末日までに前月1日から同月末日までの間の分を納入 ※一定の要件を満たす場合は3ヶ月ごとに申告納入が可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての導入先行自治体において毎月末日までに前月分を申告納入</li> </ul>
税率	<p>【案1】 定額制 200円(1人1泊、全宿泊料金) ※段階設定はなし ※配分：道100円・富良野市100円 ※税収試算6650万円</p> <p>【案2】 定額制 250円(1人1泊、全宿泊料金) ※段階設定はなし ※配分：道100円・富良野市150円 ※税収試算9975万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>200円については先例でも多くなっており、納税者にも受け入れられやすい（総務省も適正範囲と認識）が、250円の設定をどう考えるか。（入湯税として250円が徴収されている例（阿寒湖温泉、別府市）もあるため、突飛な金額ではない）</li> <li>【定額制について】 当初は定率制を志向したものの、現行ホテルに導入されている会計システムが定率制に対応していないこと、定率制を導入した場合、道の宿泊税（定額制）との兼ね合いから申告事務が複雑化すること等を考慮した結果、まずは定額制で導入し、導入後の定期的な見直し時期に定率制への変更も検討する。</li> <li>【段階設定について】 富良野市では2万円以上の宿泊施設がほとんどないため設定しない 低額で段階設定をするとその金額近辺に設定している宿泊施設が宿泊費を値下げしてしまう懸念があることと、道の段階設定と異なる場合に複雑になるため、まずはシンプルな制度で導入すべき。（道が段階設定を導入した場合は合わせて設定を検討）</li> <li>【道との配分】 必要財源を確保するためには富良野市として最低150円は確保したいが、負担額とのバランスをどのように考えるか</li> </ul>

# 【修正後】富良野市における宿泊税の制度設計①

	富良野市	左記の考え方
課税 客体	富良野市内に所在する次の宿泊施設への宿泊行為 <ul style="list-style-type: none"> <li>旅館業法の許可を受けたホテル、旅館、簡易宿所</li> <li>住宅宿泊事業法に規定する住宅宿泊事業に係る施設（民泊）</li> </ul>	【民泊を含めることについて】 <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊行為に対しての課税であれば、民泊宿泊者にも課税せざるを得ない。当市の場合、旅館業法及び住宅宿泊事業法については、北海道が所管しているが、違法民泊等がある場合については、北海道へ連絡し、民泊施設の届出を行うよう指導していただく。</li> </ul>
納税 義務者	上記施設への宿泊者 ※宿泊目的に限らず徴収	【観光以外の宿泊も対象とすることについて】 <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊税は観光振興のために使用するが、ビジネス客であっても富良野の魅力（域内交通、飲食店、買い物）を享受することになるため</li> <li>宿泊目的を把握・証明することが困難</li> </ul>
徴収 方法	・特別徴収 特別徴収義務者（宿泊事業者等）が宿泊者から徴収・納入 ※道も宿泊税を導入する場合は富良野市が一括して徴収	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての宿泊税導入先行自治体において宿泊事業者等を特別徴収義務者とし、特別徴収を実施</li> </ul>
申告 期限	毎月末日までに前月1日から同月末日までの間の分を納入 ※一定の要件を満たす場合は3ヶ月ごとに申告納入が可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての導入先行自治体において毎月末日までに前月分を申告納入</li> </ul>
税率	<p>【案1】 定額制 200円(1人1泊、全宿泊料金) ※段階設定はなし ※配分：道100円の場合、富良野市100円 ※税収試算6650万円</p> <p>【案2】 定額制 250円(1人1泊、全宿泊料金) ※段階設定はなし ※配分：道100円の場合、富良野市150円 ※税収試算9975万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>200円については先例でも多くなっており、納税者にも受け入れられやすい（総務省も適正範囲と認識）が、250円の設定をどう考えるか。（入湯税として250円が徴収されている例（阿寒湖温泉、別府市）もあるため、突飛な金額ではない）</li> <li>【定額制について】 当初は定率制を志向したものの、現行ホテルに導入されている会計システムが定率制に対応していないこと、定率制を導入した場合、道の宿泊税（定額制）との兼ね合いから申告事務が複雑化すること等を考慮した結果、まずは定額制で導入し、導入後の定期的な見直し時期に定率制への変更も検討する。</li> <li>【段階設定について】 富良野市では2万円以上の宿泊施設がほとんどないため設定しない 低額で段階設定をするとその金額近辺に設定している宿泊施設が宿泊費を値下げしてしまう懸念があることと、道の段階設定と異なる場合に複雑になるため、まずはシンプルな制度で導入すべき。（道が段階設定を導入した場合は合わせて設定を検討）</li> <li>【道との配分】 必要財源を確保するためには富良野市として最低150円は確保したいが、負担額とのバランスをどのように考えるか</li> </ul>

# 【修正前】税込試算

- 税率200円(道100円:市100円)で6650万円の税込見込み
  - 税率250円(道100円:市150円)で9975万円の税込見込み
  - 段階設定の考え方(道の設定によっては複雑になる可能性、段階近辺の宿泊料金の場合は下げられる可能性)
- ※年間延泊は、2019年開業ホテルの宿泊者数や市が宿泊者数を把握していない宿泊施設の宿泊者数を加えると、10万泊程度は加算が見込めるが、シミュレーションの7割程度の税込になるという通説もあるため、加算分を見込まない試算としている

## ●価格帯別ベッド数

	夏冬(ハイシーズン)			春秋(閑散期)		
	1泊素泊まり (施設数)	1泊素泊まり (ベッド数)		1泊素泊まり (施設数)	1泊素泊まり (ベッド数)	
2万円以上	3	424	9.4%	0	0	0.0%
5,000円以上20,000円未満	67	3492	77.7%	65	3794	84.4%
5,000円未満	26	578	12.9%	31	700	15.6%
未回答	9		0.0%	9		0.0%
計	105	4494	100.0%	105	4494	100.0%

## ●H30実績宿泊延数

	ハイシーズン	ローシーズン	年間	うち修学旅行	修学旅行を引いた合計
H30実績宿泊延数(泊)	462707	210341	673048	35000	638048
	68.7%	31.3%	100.0%	5.2%	94.8%

パターン	合計	道税	市税			最大宿泊能力における税込見込額										税込見込額 年間宿泊延数66.5万泊 (70万泊一修旅3.5万泊)
			条件1 5,000円未満	条件2 5,000円以上 20,000円未満	条件3 2万円以上	夏冬(繁忙期)6,7,8,12,1,2月				春秋(閑散期)4,5,9,10,11,3月				最大宿泊稼働 における合計 (Y)+(Z)		
						5,000円未満	5,000円以上 20,000円未満	2万円以上	計(Y)	5,000円未満	5,000円以上 20,000円未満	2万円以上	計(Z)			
1	200円(一律)	100円	100円	100円	100円	14,493,639円	87,563,646円	10,632,012円	112,689,297円	7,997,150円	43,344,553円	0円	51,341,703円	164,031,000円	66,500,000円	
2	200円(一律)	50円	150円	150円	150円	21,740,459円	131,345,469円	15,948,018円	169,033,946円	11,995,725円	65,016,830円	0円	77,012,555円	246,046,500円	99,750,000円	
3	250円(一律)	50円	200円	200円	200円	28,987,278円	175,127,292円	21,264,024円	225,378,594円	15,994,300円	86,689,106円	0円	102,683,406円	328,062,000円	133,000,000円	
4	250円(一律)	100円	150円	150円	150円	21,740,459円	131,345,469円	15,948,018円	169,033,946円	11,995,725円	65,016,830円	0円	77,012,555円	246,046,500円	99,750,000円	
5	250円(5000円以上) 200円(4999円以下)	50円	150円	200円	200円	21,740,459円	175,127,292円	21,264,024円	218,131,775円	11,995,725円	86,689,106円	0円	98,684,831円	316,816,606円	128,440,992円	
6	250円(5000円以上) 200円(4999円以下)	100円	100円	150円	150円	14,493,639円	131,345,469円	15,948,018円	161,787,126円	7,997,150円	65,016,830円	0円	73,013,980円	234,801,106円	95,190,992円	
7	500円(20000円以上) 200円(19999円以下)	50円	150円	150円	450円	21,740,459円	131,345,469円	47,844,054円	200,929,982円	11,995,725円	65,016,830円	0円	77,012,555円	277,942,536円	112,681,010円	
8	250円(5000円以上) 150円(4999円以下)	50円	100円	200円	200円	14,493,639円	175,127,292円	21,264,024円	210,884,955円	7,997,150円	86,689,106円	0円	94,686,256円	305,571,211円	123,881,983円	
9	200円(5000円以上) 150円(4999円以下)	50円	100円	150円	150円	14,493,639円	131,345,469円	15,948,018円	161,787,126円	7,997,150円	65,016,830円	0円	73,013,980円	234,801,106円	95,190,992円	

※繁忙期は年間の68.7%、閑散期は31.3%で計算

※富良野市観光統計と宿泊施設への聞き取りにより算出

# 【修正後】税込試算

- 税率200円(道100円の場合、市100円)で6650万円の税込見込み
  - 税率250円(道100円の場合、市150円)で9975万円の税込見込み
  - 段階設定の考え方(道の設定によっては複雑になる可能性、段階近辺の宿泊料金の場合は下げられる可能性)
- ※年間延泊は、2019年開業ホテルの宿泊者数や市が宿泊者数を把握していない宿泊施設の宿泊者数を加えると、10万泊程度は加算が見込めるが、シミュレーションの7割程度の税込になるという通説もあるため、加算分を見込まない試算としている

## ●価格帯別ベッド数

	夏冬(ハイシーズン)			春秋(閑散期)		
	1泊素泊まり (施設数)	1泊素泊まり (ベッド数)		1泊素泊まり (施設数)	1泊素泊まり (ベッド数)	
2万円以上	3	424	9.4%	0	0	0.0%
5,000円以上20,000円未満	67	3492	77.7%	65	3794	84.4%
5,000円未満	26	578	12.9%	31	700	15.6%
未回答	9		0.0%	9		0.0%
計	105	4494	100.0%	105	4494	100.0%

## ●H30実績宿泊延数

	ハイシーズン	ローシーズン	年間	うち修学旅行	修学旅行を引いた合計
H30実績宿泊延数(泊)	462707	210341	673048	35000	638048
	68.7%	31.3%	100.0%	5.2%	94.8%

パターン	合計	道税	市税			最大宿泊能力における税込見込額										税込見込額 年間宿泊延数66.5万泊 (70万泊一修旅3.5万泊)
			条件1 5,000円未満	条件2 5,000円以上 20,000円未満	条件3 2万円以上	夏冬(繁忙期)6,7,8,12,1,2月				春秋(閑散期)4,5,9,10,11,3月				最大宿泊稼働 における合計 (Y)+(Z)		
						5,000円未満	5,000円以上 20,000円未満	2万円以上	計(Y)	5,000円未満	5,000円以上 20,000円未満	2万円以上	計(Z)			
1	200円(一律)	100円	100円	100円	100円	14,493,639円	87,563,646円	10,632,012円	112,689,297円	7,997,150円	43,344,553円	0円	51,341,703円	164,031,000円	66,500,000円	
2	200円(一律)	50円	150円	150円	150円	21,740,459円	131,345,469円	15,948,018円	169,033,946円	11,995,725円	65,016,830円	0円	77,012,555円	246,046,500円	99,750,000円	
3	250円(一律)	50円	200円	200円	200円	28,987,278円	175,127,292円	21,264,024円	225,378,594円	15,994,300円	86,689,106円	0円	102,683,406円	328,062,000円	133,000,000円	
4	250円(一律)	100円	150円	150円	150円	21,740,459円	131,345,469円	15,948,018円	169,033,946円	11,995,725円	65,016,830円	0円	77,012,555円	246,046,500円	99,750,000円	
5	250円(5000円以上) 200円(4999円以下)	50円	150円	200円	200円	21,740,459円	175,127,292円	21,264,024円	218,131,775円	11,995,725円	86,689,106円	0円	98,684,831円	316,816,606円	128,440,992円	
6	250円(5000円以上) 200円(4999円以下)	100円	100円	150円	150円	14,493,639円	131,345,469円	15,948,018円	161,787,126円	7,997,150円	65,016,830円	0円	73,013,980円	234,801,106円	95,190,992円	
7	500円(20000円以上) 200円(19999円以下)	50円	150円	150円	450円	21,740,459円	131,345,469円	47,844,054円	200,929,982円	11,995,725円	65,016,830円	0円	77,012,555円	277,942,536円	112,681,010円	
8	250円(5000円以上) 150円(4999円以下)	50円	100円	200円	200円	14,493,639円	175,127,292円	21,264,024円	210,884,955円	7,997,150円	86,689,106円	0円	94,686,256円	305,571,211円	123,881,983円	
9	200円(5000円以上) 150円(4999円以下)	50円	100円	150円	150円	14,493,639円	131,345,469円	15,948,018円	161,787,126円	7,997,150円	65,016,830円	0円	73,013,980円	234,801,106円	95,190,992円	

※繁忙期は年間の68.7%、閑散期は31.3%で計算

※富良野市観光統計と宿泊施設への聞き取りにより算出

# 【修正前】宿泊税の使途イメージ

- ふらのビジョン2030の基本目標である「オールシーズン滞在型の国際観光地」に向けた戦略や取り組みに使用。
- 富良野市全体の魅力を高めるために必要な取り組み、新規事業、拡充すべき既存事業、緊急性の高い事業などに使用
- 入湯税、ふるさと納税など既存の税の使途と差別化・調整して使用。主に富良野市滞在の魅力づくり、受入環境整備、組織・基盤づくりに充てる
- 毎年全額を使用するのではなく、積み立てた基金からその年に必要な経費を切り崩して使用
- 事業ごとの実施主体(役割分担)は別途検討

## ●導入初年度の使途内容と金額内訳イメージ(例)


項目	事業内容	金額
DMO職員人件費※	<ul style="list-style-type: none"> <li>マネージャー人件費 給与等10,000千円×1.5×1人 = 15,000千円</li> <li>職員人件費 給与等6000千円×1.5×1人 = 9,000千円</li> </ul>	24000千円
宿泊税徴収人件費	<ul style="list-style-type: none"> <li>徴収経費 職員2人 (H30平均人件費6,274千円×2 = ①12,548千円)</li> <li>システム10,000千円を10年で償却 = ②1,000千円/年</li> <li>システムのランニング経費③300千円</li> <li>特別徴収義務者への交付金100,000千円×3% = ④3,000千円</li> <li>① + ② + ③ + ④ = 16,848千円 ≒ 16,800千円</li> </ul>	16800千円
オフシーズンを中心とした滞在の魅力づくり※	<ul style="list-style-type: none"> <li>早朝・夜間、悪天時、季節ごと(特にオフシーズン)のコンテンツ開発 など</li> </ul>	10000千円
二次交通対策※	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の二次交通改善～藤田会長試算 まちなか～中五区～中御料～北の峰の循環バスが、20,000千円。</li> <li>新千歳空港～富良野間のアクセス改善10,000千円 (H23年新千歳⇄富良野のアクセス改善一日4便を6便にした際、最大年間8700千円の赤字補填⇒富良野へのアクセス改善で10,000千円程度を想定)</li> </ul>	30000千円
マーケティング+ロイヤリティプログラムの実施※	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なマーケティングの実施と顧客との関係構築強化(ロイヤリティプログラムの構築と実施)</li> <li>負担の少ないデータ集約システムの構築と実施</li> </ul>	10000千円
効果的な情報発信※	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な情報発信・プロモーション</li> <li>体験プログラムなどの地域情報のポータル化</li> </ul>	10000千円
計	※の項目は、補助金等を活用することにより金額以上の事業執行が可能	100800千円



# 【修正後】宿泊税の使途イメージ

- ふらのビジョン2030の基本目標である「オールシーズン滞在型の国際観光地」に向けた戦略や取り組みに使用。
- 富良野市全体の魅力を高めるために必要な取り組み、新規事業、拡充すべき既存事業、緊急性の高い事業などに使用
- 入湯税、ふるさと納税など既存の税の使途と差別化・調整して使用。主に富良野市滞在の魅力づくり、受入環境整備、組織・基盤づくりに充てる
- 毎年全額を使用するのではなく、積み立てた基金からその年に必要な経費を切り崩して使用
- 事業ごとの実施主体(役割分担)は別途検討

## ●導入初年度の使途内容と金額内訳イメージ(例)

項目	事業内容	金額
DMO職員人件費※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マネージャー人件費 給与等10,000千円×1.5×1人 = 15,000千円</li> <li>・ 職員人件費 給与等6000千円×1.5×1人 = 9,000千円</li> </ul>	24000千円
宿泊税徴収人件費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徴収経費 職員 2 人 (H 3 0 平均人件費6,274千円×2 = ①12,548千円)</li> <li>・ システム10,000千円を10年で償却 = ②1,000千円/年</li> <li>・ システムのランニング経費③300千円</li> <li>・ 特別徴収義務者への交付金100,000千円×3% = ④3,000千円</li> <li>① + ② + ③ + ④ = 16,848千円 ≒ 16,800千円</li> </ul>	16800千円
オフシーズンを中心とした滞在の魅力づくり※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早朝・夜間、悪天時、季節ごと(特にオフシーズン)のコンテンツ開発 など</li> </ul>	10000千円
二次交通対策※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内の二次交通改善  まちなか～中五区～中御料～北の峰の循環バスが、20,000千円。</li> <li>・ 新千歳空港～富良野間のアクセス改善10,000千円 (H23年新千歳⇄富良野のアクセス改善一日4便を6便にした際、最大年間8700千円の赤字補填⇒富良野へのアクセス改善で10,000千円程度を想定)</li> </ul>	30000千円
マーケティング+ロイヤリティプログラムの実施※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果的なマーケティングの実施と顧客との関係構築強化(ロイヤリティプログラムの構築と実施)</li> <li>・ 負担の少ないデータ集約システムの構築と実施</li> </ul>	10000千円
効果的な情報発信※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果的な情報発信・プロモーション</li> <li>・ 体験プログラムなどの地域情報のポータル化</li> </ul>	10000千円
計	※の項目は、補助金等を活用することにより金額以上の事業執行が可能	100800千円